

カトリック 新潟教区報



第11回宣教司牧評議会開催 新潟教区の宣教司牧をさらに推進させるためには

4月29日(土)、第11回となる教区宣教司牧評議会が司教館を会場に開催された。当日は、今春の評議員改選により新たに任命を受けた各地区の代表評議員、女子奉獻生活者代表他に加え、新潟教会所属の青年2名がオブザーバーとして参加した。会議は菊地司教様の講話「新潟教区の宣教課題」で始まり、午前は3グループに分かれ、講話で提示された話し合いの課題「新潟教区の宣教と司牧を今よりさらに推進させるためには何をしたらいいか、何が必要か」について意見交換が行われた。午後からは各グループの発表の後、事前に配布されていた昨年度教区優先課題への取り組み報告書について質疑が行われた他、各地区の情報交換が行われた。

なお、今回の評議会の内容は、後ほど報告書にまとめられ、各小教区、修道院に配布される。



教区行事の先行お知らせ

- ・2018年7月1日(日) 列福十周年記念殉教祭開催
会場・山形県米沢市
 - ・2018年9月29日(土)～30日(日) 教区大会開催
会場・秋田県南秋田郡大潟村北1-3 サンプルラール大潟
- ※詳しい内容が決まりましたら、あらためてお知らせいたします。



合同洗礼志願式

新潟司教座聖堂

3月5日(日) 四旬節第一主日、菊地司教司式により新潟教会において合同洗礼志願式が行われた。本年は新潟教会、花園教会、青山教会から11名の参加があった。この日は四旬節の始まりの日でもあり、新潟教会も教会共同体として志願者とともに信仰の道を見つめ直すよい時間を与えられた。

菊地司教は説教で、まず教皇様の四旬節メッセージ「みことばはたまもの、他の人々はたまもの」を取り上げられ「教皇様は私たちに、神のみ言葉に耳を傾けることの重要さを説き、み言葉に耳を傾けることによって、私たちの隣人との関係も定まってくるのだと強調されている。」と説かれ、さらに「洗礼志願式が四旬節の第一主日である理由」「皆さんに洗礼志願式に集まってもらう理由」「なぜカテドラルで行われるのか」など、詳しく説かれた。

終わりに、「教会共同体の皆さんが、この四旬節に洗礼志願者が神との出会いを深めることを祈り、ともに信仰を振り返り、自らが何を信じているのか、どうして信じているのか、そしてどのようにに生きようとしているのか、一緒に頑張ってみたい。」と結ばれた。



司祭人事

()内はこれまでの任務等
4月17日付任命

- 《新潟地区》
▼ホセ・ルイス・グレゴリオ・ロレンゾ師 新潟教会協力(長岡教会協力) 〓 神言修道会
- 《新発田地区》
▼エデルベルトウス・ナジ師 見附教会・栃尾教会小教区管理者(見附教会・栃尾教会助任) 〓 神言修道会
- 《長岡教区》
▼田中丈夫師 長岡教会協力(仙台教区第三地区担当) 〓 仙台教区
- ▼伊能哲大師 高田教会・直江津教会・糸魚川教会主任(高田教会・直江津教会・糸魚川教会協力) 〓 フランシスコ会
- ▼南雲正晴師 高田教会・直江津教会・糸魚川教会協力(六本木修道院) 〓 フランシスコ会
- 《秋田教区》
▼永山 誠師 秋田教会主任(神言修道会日本管区センター) 〓 神言修道会
- ▼ロベルト・タンダキラン・ソリス師 秋田教会主任(日本語研修) 〓 神言修道会
- 《教区外への転出》
▼スタニスワヴ・ポウオムスキ師(見附教会・栃尾教会主任) 〓 神言修道会
- ▼松本勝男師(秋田教会主任) 〓 神言修道会
- ▼フベルト・ネルスカンプ師(高田教会・直江津教会主任・糸魚川教会小教区管理者) 〓 フランシスコ会
- ▼續橋和弘師(柏崎教会・直江津教会・高田教会協力) 〓 フランシスコ会

山形地区

菊地司教の公式訪問で堅信式

5月7日(日)、菊地司教様が山形教会を公式訪問され、久しぶりの司教司式のミサに聖堂は補助席が必要になるほどの信徒が集まり、共に祈りを捧げました。また、この日は堅信式も行われ、7人の方が司教様から「堅信」の秘跡を受け、聖霊の力によってより強固なキリスト者となることを誓い、福音宣教の使命を果たす責任があることを確認しました。

また、説教で、羊飼いの声を聞き分け、その「門」すなわち「わたし(イエス)を通して入る者は救われる」との福音箇所を用い、聖書の時代とは違い、現代においてはインターネットなどの普及により多くの情報が簡単に手に入る反面、様々な雑音(信仰の妨害)や偽りの情報の中からいかに「神の言葉」を聞き分けるか、その難しさと重要性が話されました。



「糸魚川大規模火災支援金」のお礼と報告

昨年末より教区内外より、心温まる支援金をご送金頂き、心から感謝御礼を申し上げます。

教区として3月31日までに送金頂いた金額1,508,709円を、糸魚川教会に送金致しました。糸魚川教会を通して被災地の為に使わせて頂きます。

2月・3月にご送金頂いた個人・団体・教会関係・新潟教区各教会(敬称略)

加茂白百合幼稚園・カトリック桜町教会・阪神カトリック女性の会・白根教会・長井教会・新津教会・酒田教会・大館教会・花園教会・青山教会・土崎教会・新潟教会・亀田教会

カトリック新潟教区司教 菊地 功

昨年12月22日強風にあおられて火が町を覆い、147棟が焼けた大火から4ヵ月余り経過いたしました。

この度、新潟教区の教会、個人、団体、教会関係の方々、県外の皆様に心温まる励ましとたくさんの支援金を頂き心から感謝御礼申し上げます。集まった支援金はすべて当教会を通して糸魚川市へ「お見舞金」としてお渡しいたしました。

糸魚川は今、復興に向けて歩み続けております。がれき撤去は既に終了し「復興まちづくり計画」の策定が進んでおります。災害に強くにぎわいのある町づくりが実現できるよう願っております。被害者の皆様が笑顔で復興を迎える日が早く来ますように支え合いの輪をしっかりと結び頑張ってください。

皆様の上に主の祝福といつくしみが豊かに有りますように心からお祈り申し上げます。感謝と祈りのうちに

カトリック糸魚川教会主任司祭 伊能 哲大
信徒会長 斎藤 政子

2017年度地区別行事計画表

	新潟地区	新発田地区	長岡地区	山形地区	秋田地区
3月	4日:地区信徒大会 及び地区協総会 会場:新潟教会				
5月	21日:街頭募金運動 会場:市内		27~28日:中高生の集い 28日:地区信徒大会 会場:妙高教会	全体計画は5月地区協 総会にて協議予定のため未定。	
6月	28~29日:カトリック新潟 女性の会 軽井 沢巡礼				25日:地区信徒の集い 会場:土崎カトリック こども園
7月				9日:北山原殉教祭 会場:米沢	15~17日: 地区教会学校錬成会 場所:まんたらめ
8月			7~9日:小中学生夏の集い 会場:妙高 赤倉山荘 中旬:高校生・青年の集い		
9月	2日:信仰養成講座(1回目) 会場:新潟教会 9日:信徒養成講座(2回目) 会場:新潟教会	23日:加茂教会50周年 記念行事			2~3日:十字架祭 会場:後生掛温泉 10日:信仰養成講座 (1回目) 会場:秋田教会
10月	8~9日:地区信徒大会 会場:福島県内を予定 27日:カトリック新潟女性 の会 講演会・総会	1日:地区信徒大会 会場:新津教会	28日:地区婦人の集い 会場:直江津教会		29日:信仰養成講座 (2回目) 会場:秋田教会

2016年度 決算報告

2016年度の小教区会計、教区本部会計の決算ならびに教区統計について報告させていただきます。(教区事務局長 大瀧浩一)

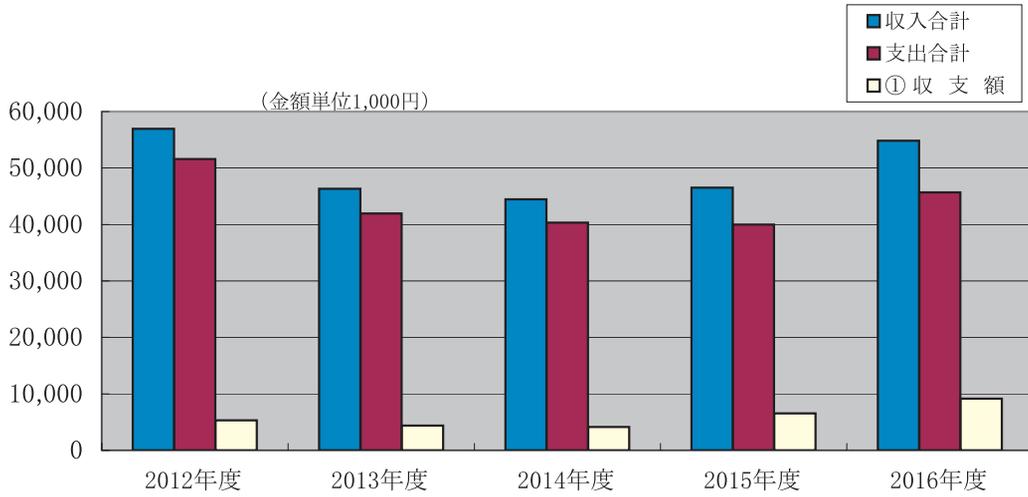
教区本部一般会計 5年間の推移

除く司教館建設献金収入、建設費 (金額単位1,000円)

項目	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
収入合計	56,932	46,319	44,449	46,527	54,826
支出合計	51,606	41,956	40,308	39,984	45,700
①収支額	5,326	4,363	4,141	6,543	9,126

<一般会計から特別会計へ振替>					
②司祭人件費等収支額	3,181	885	961	2,287	4,791
③一粒会収支額	2,694	2,804	2,609	2,380	-89

一般会計実質収支額(①-②-③)	-549	674	571	1,876	4,424
------------------	------	-----	-----	-------	-------



教区本部一般会計の5年間の収支は、別表「教区本部一般会計5年間の推移」ならびにグラフのとおりです。2016年度の収支額は912万円の赤字となっておりますが、司祭人件費等収支額と一粒会収支額を特別会計に振替後の実質収支額で442万円の赤字になりました。この要因は長年使用されていなかった土地売却と、信者からの大口寄付金を合わせて450万円の収入があったためです。

司祭寄付金と人件費では、2016年度よりチャプレン制度の導入により、司祭からの寄付金が、290万円ほど増加しています。一粒会会計では、神学生養成費ならびに入学金の支出が昨年より多くなり、単年度で9万ほどのマイナスとなりました。その他の収支額は前年並みで推移しています。

特別会計で処理しております「一粒会会計」、「建設・共済基金会計」、「指定献金・特別献金集計」は別紙のとおりです。

以上が2016年度の決算状況ですが、信徒・司祭の高齢化や経済状況から今後も厳しい財政状況が続くことが予想されます。各小教区ならびに教区の財政は信徒の皆様からの献金でまかなってまいります。教区本部として財政基盤の拡充に向けて検討していかねばなりません。引き続き信徒の皆様から財政に対するご理解とご協力をお願い致します。

教区本部会計の収支状況

2016年度 教区本部一般会計 収入額・支出額の内訳

(金額単位：1,000円)

支出項目	金額	構成	収入項目	金額	構成
司祭人件費	21,016	46%	司祭寄付金	19,708	36%
事務運営費	6,717	15%	司祭活動負担金	6,099	13%
職員人件費	6,453	14%	教区負担金(教区維持費)	10,612	23%
祭儀費、寄付金等	5,516	12%	一般・特別寄付金	5,328	11%
神学生養成費	4,287	9%	一粒会負担金	4,249	9%
その他の支出	1,711	4%	学校法人負担金	1,680	4%
			献金収入	3,216	3%
			その他の収入	3,934	1%
支出合計	45,700	100%	収入合計	54,826	100%

司祭人件費に充当

2016年度 一粒会会計収支状況

(金額単位：1,000円)

項目	2016年度	2015年度
前年度繰越残高	42,018	38,753
一粒会費収入額 ①	4,249	4,171
支出額		
神学生養成費	4,223	1,600
錬成会等補助	114	192
支出額計 ②	4,337	1,792
収支残高①-②	-88	2,379
司祭育成の日献金教区組入額	287	256
受取利息等其他収入	395	630
次年度繰越残高	42,612	42,018

2016年度 指定献金・特別献金集計表

(金額単位：1,000円)

項目	2016年度	2015年度
世界こども助け合いの日献金(児童福祉の日献金)	795	840
教区青少年の日献金	334	331
聖地のための献金	239	232
四旬節愛の献金	1,158	1,187
世界広報の日献金	307	326
聖ペトロ使徒座への献金	347	366
世界難民移住移動者の日献金	378	394
世界宣教の日献金	332	353
宣教地召命促進の日献金	387	356
ハバロフスク教会支援特別献金	0	392
糸魚川大規模火災支援金	110	
その他	63	
合計	4,450	4,777

2016年度 建設・共済基金会計決算書

(金額単位：1,000円)

項目	2016年度	2015年度
収入額		
小教区負担金	1,838	1,891
貸付金利息	92	493
受取利息・利金等	792	645
収入額計	2,722	3,029
支出額		
会議費	90	0
事務委託費	150	150
支払手数料等雑費	1	1
支出額計	241	151
基金残高		
年度末貸付残高	77,241	64,621
年度末預貯金・債券残高	104,238	114,377
基金残高合計	181,479	178,998

糸魚川大規模火災支援金は糸魚川教会へ支援金として、3月31日までの金額1,508,709円(19件の個人・団体・教会関係708,672円、教区内教会800,037円)を送金させて頂きました。ご協力ありがとうございました。

2016年度 小教区一般会計収支決算書

(金額単位：1,000円)

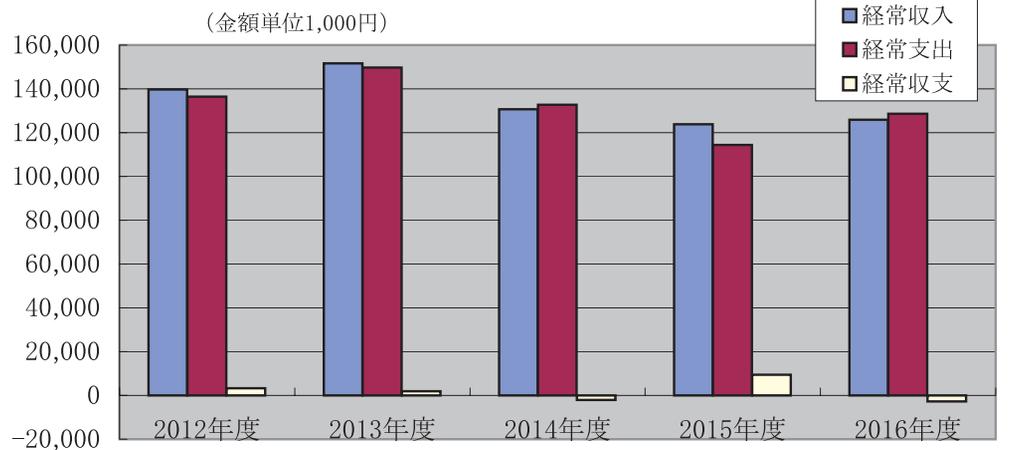
項目	2016年度決算	2015年度決算	増減額
献金収入	81,133	85,185	-4,052
教会維持費収入	43,790	45,895	-2,105
ミサ献金収入	21,502	21,713	-211
一般・臨時献金収入	6,389	6,359	30
祭儀献金収入	5,710	5,709	1
司祭活動献金収入	3,742	5,509	-1,767
指定献金収入	4,950	5,174	-224
一粒会献金収入	4,096	4,188	-92
寄付金収入	29,361	24,552	4,809
事業収入	1,200	1,216	-16
その他の経常収入	5,117	3,542	1,575
経常収入計	125,857	123,857	2,000
財務収入	19,196	8,052	11,144
収入合計	145,053	131,909	13,144
宗教活動費	47,323	46,090	1,233
指定献金支出	4,694	4,981	-287
一粒会献金支出	4,074	4,118	-44
事務運営費	30,908	33,060	-2,152
人件費	6,202	8,119	-1,917
維持管理費	33,902	16,127	17,775
事業支出	281	209	72
その他の経常支出	1,214	1,735	-521
経常支出計	128,598	114,439	14,159
財務支出	23,738	18,595	5,143
支出合計	152,336	133,034	19,302
収支差額	-7,283	-1,125	-6,158
次期繰越金	87,243	94,526	-7,283

小教区会計の収支状況は、各小教区から決算報告書を頂き、その内容を合算集計したものです。一般会計では、収入合計額から支出合計額を引いた収支状況はマイナス728万円となりました。この収支合計額には建物の建築費や器具備品の購入や特別会計との資金の振替等の財務収支額が含まれていますが、財務収支額を除いて経常収支でもマイナス274万円となり、この要因は、献金収入が前年比400万ほど減少し、建物の改築補修で前年比1,780万円ほど増加しているためです。次期繰越金は一般会計で8,724万円、建設積立等の特別会計で3億743万円となっています。2016年度の決算状況ならびに一般会計の経常収支額の推移は別表「小教区一般会計収支決算書」ならびに「小教区経常収入・支出額5年間の推移」のとおりです。

小教区一般会計経常収入・支出額 5年間の推移

(金額単位1,000円)

項目	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
経常収入	139,674	151,710	130,676	123,857	125,857
経常支出	136,383	149,745	132,777	114,439	128,598
経常収支	3,291	1,965	-2,101	9,418	-2,741



新潟司教区統計

(2016年12月31日現在)

1. 概況

(教区人口比：0.17%)

面積 …… 33,544.79km² 信者総数 …… 7,418人
人口 …… 4,408,590人 求道者 …… 56人

2. 人員構成

司教 …… 1 聖霊奉侍布教修道女会 邦人(準会員含) …… 5
教区司祭 邦人 …… 14 外国人 …… 2
外国人 …… 1 聖心の布教姉妹会 邦人 …… 34
神言会員 邦人 …… 5 オタワ愛徳修道女会 邦人 …… 2
外国人 …… 9 聖クララ会 邦人(志願者含) …… 11
フランススコ会員 外国人 …… 3 聖マリア在俗会 邦人 …… 9
邦人(修道士含む) …… 3
イエズス・マリアの聖心会員 邦人 …… 1
外国人 …… 1
他教区から派遣司祭 邦人 …… 1
外国人 …… 1
神学生 …… 1

3. 事業

小教区教会 …… 30 教育事業
分教会・巡回教会 …… 5 幼稚園 …… 25
集会所 …… 1 園児数 …… 2,505
女子修道院 …… 7 女子中学校 …… 1
社会福祉事業 生徒数 …… 96
老人ホーム …… 5 女子高等学校 …… 2
宿泊を伴う利用者数 …… 261 生徒数 …… 763
その他の老人福祉事業 …… 11 女子短期大学 …… 2
宿泊を伴う利用者数 …… 140 学生数 …… 535
宿泊を伴わない(年間のべ人数) …… 39,815 児童福祉事業
その他の福祉事業 …… 4 保育園 …… 7
宿泊を伴う利用者数 …… 32 園児数(年間のべ人数) …… 156,605
宿泊を伴わない(年間のべ人数) …… 0 その他の児童福祉事業 …… 10
宿泊を伴う利用者数 …… 162
宿泊を伴わない(年間のべ人数) …… 26,629

4. 移動

転入 転出 死亡 …… 68
教区内 …… 17 …… 15
教区外 …… 22 …… 16
その他 …… 116 …… 20

教会名	信徒数	洗礼成人		堅信	結婚 ^{注1}	求道者
		幼児				
1 新潟	739		7	6	4	6
2 花園	355	1				2
3 青山	245	1			1	1
4 寺尾	166	2	4	2	1	2
5 鳥屋野	60					
6 亀田	78					
7 白根	16					
8 佐渡	62		1			
新潟地区計	1,721	4	12	8	6	11
11 新発田(村上)	279	1	2		2	1
12 新津(村松)	157					
15 加茂	41					
16 三条	131					
17 見附	133		1	1		
18 栃尾	21		1	6		
新発田地区計	762	1	4	7	2	1
21 長岡	398	1				4
23 柏崎	394		5	9		9
24 直江津	128					
25 糸魚川	163					7
26 十日町	120		1			
27 高田(妙高)	845	3	3	8	2	6
長岡地区計	2,048	4	9	17	2	26
新潟県合計	4,531	9	25	32	10	38
31 山形(新庄)	611	3	3	5	1	1
32 酒田	49					2
33 米沢(長井)	123	1	2	3		3
34 鶴岡	200		2	1		1
山形地区計	983	4	7	9	1	7
41 注2 秋田	1,056	1	3	2		8
42 土崎	362	1	1	1	1	2
43 鹿角	28					1
44 大館	69					
45 横手(上宿)	184					
46 能代	46					
47 本荘	55					
秋田地区計	1,800	2	4	3	1	11
新潟地区計	7,314	15	36	44	12	56
教役者・信徒 信者総数	7,418	…教役者数104名+一般信徒7,314名				

注1. 結婚：信者同士、信者と他キリ、信者と非キリのみ。
注2. 秋田教会には、聖体奉仕会シスターの人数(22名)が含まれています。

2016年度 東日本大震災復興支援活動状況

2011年3月11日の東日本大震災発生から、今年3月で6年が経過、7年目に入りました。被災地では、大きな津波被害を受けた沿岸部の土地のかさ上げ工事やインフラ復旧・整備に向けての大規模な事業が進められている一方で、まだまだ手付かずの地域もあり、被災された方々の間にも状況にばらつきがみられます。

ご存知のように、カトリック教会は震災発生直後から仙台教区の平賀徹夫司教を主体とし、教会管区ごとに仙台教区を側面から支援する形で、日本の教会を挙げて被災者の支援にあたってきました。被災地の復旧・復興事業が長期化する一方で、救援のために被災地に入っていた他の多くの団体が時の経過とともに撤退する中であって、教会は現在も宮古、大船渡、釜石、石巻、米川（南三陸）、南相馬、いわきの各地にベースを設け、被災者に寄り添い「ともに歩む」活動を続けています。

新潟教区にあつては、教区の地理的条件を考慮し、新潟にセンターを設けず、秋田、山形、新発田、新潟、長岡の各地区で可能な支援を迅速に行うようをお願いしてきました。

このたびも2016年度に教区内各教会がどのように被災地支援を行ったかをお聞きし、ご報告のあった教会等の活動状況を取りまとめました。それぞれの地区、あるいは教会の取り組みを相互に知ることで、今後の支援活動の参考にしていただければ幸いです。

す。なお、昨年4月16日、17日に発生した熊本地震被災地への支援状況を報告してくださった小教区もあることから、これについても併せてお知らせします。

支援活動の概況

2016年度については、小教区(11)、奉献生活の会(2)、その他の団体(1)の計14団体からご報告をいただきました。地区別では、山形地区(2)、新発田地区(3)、新潟地区(6)、長岡地区(3)となっております。

全般的な傾向としては、それぞれの地区の実情を反映したものとなっており、地区ごとに特徴がみられるようになってきました。支援先の選定や支援の内容については、数年にわたり継続的な支援をしていただいています。

2016年度の支援活動について、地区ごとに別表1～4に示します。

個別の活動状況

山形地区は福島市から約45分ということから、米沢市やその周辺地域には福島県からの避難者が3,000人近くおられるとのこと、山形教会では趣町教会(東京)の信徒が中心となっている「きらきら星ネット」の活動のために会場を提供しているとのことです。

新発田地区からは継続的な祈り(三条教会、加茂教会)とNPO法人「福島やさい畑」復興プロジェクト(以

下、「福島やさい畑」が取り扱う農産品および加工品購入(新津教会)が報告されました。なお三条、加茂の両小教区では、「東日本大震災のための祈り」を捧げるとともに、熊本地震や糸魚川大規模火災などで苦しむ方々のことも思い起こすようにしているとのことです。

新潟地区では、地区信徒使徒職協議会が主催する被災地支援関連行事への協力や教会、バザーでの被災地産品販売・献金、また有志(グループ・個人)による活動も多く報告されました。支援先としては「福島やさい畑」が多く選ばれています。

なお新潟教会では、ミニバザーで上越の聖クララ会修道院からクッキーを仕入れて販売するにあたり、同修道院のシスターから(観想修道院であるため)自分たちは直接ボランティアには行けないけれど、このような形で被災地のためになるなら嬉しい、とお話があったそうです。

長岡地区では、継続した支援でありながらも、支援方法などについては見直しをしたり、現地の様子を確認したりしていることが報告されています。

このほかにも、報告はされませんが支援活動をしている小教区やグループ等があるかと思えます。ご協力に感謝いたします。

熊本地震への対応について

2016年4月に発生した熊本地震に際しては、新潟地区信徒使徒職協議会が毎年5月に花園・鳥屋野、青山、新潟、寺尾の各教会ならびに亀田教会が実施している「愛の街頭募金(2016年は5月22日実施)」を熊本地震救援募金として実施したとのことです。

また、寺尾教会が福岡教区に対しまとった金額を被災者支援のために拠出したことが報告されました。

- 新潟教会からは
 - ・4～5月の各主日に熊本地震支援のための献金箱を設置
 - ・日曜日ミサ後の有志によるコーヒーとスイーツ販売の収益を福岡教区に送金と報告されています。

2017年度に向けて

司教団は2016年12月臨時司教総会で、日本の教会が全体として東日本大震災の復興支援に当たる体制を、2021年3月まで間継続することを決定しました。

東日本大震災から7年目に入っていますが、復旧・復興の進捗状況には大きなばらつきがあり、いまだに手つかずと言っても過言でないところもあります。原発事故の影響は言うに及ばず、復興が進んでいないといわれる岩手・宮城両県沿岸部にあつても、人々の努力にもかかわらず全体的にはあまり進んでいないのが現状です。そして、そのしわ寄せが経済的に恵まれない世帯や高齢者に及んでいるといえます。

引き続き、祈りと共に被災地支援活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

なお支援活動にあつては、教区担当者にも一報いただければ幸いです。

【連絡先】 新潟司教館気付

町田 正神父
FAX 025-222-7467
Eメール: nlg-cur@ecatv.home.ne.jp

別表1 山形地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
山形教会	寄付・献金	毎月	・NPO法人「福島やさい畑」の運営支援のために毎月募金活動	
	活動協力	2月・6月	・NPO法人「きらきら星ネット」(東京)の活動のために会場提供	
オタワ愛徳修道女会	物品購入		・被災地の食品購入の支援	主に宮城県
	活動協力・支援		・「きらきら星ネット」の活動への協力と支援金	・米沢市在住の福島県からの自主避難者のクリスマス会に参加し交流。
	寄付		・福島野菜畑寄付支援	
	祈り		・「東日本大震災被災者のための祈りⅡ」を共同体として毎日祈り合う。	
	被災地訪問		・小教区内のアソシエ会員が宮城県気仙沼市のアソシエ会員と一緒に、状況の分かち合い等を行った。	

別表2 新発田地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
三条・加茂教会	祈り	主日ミサ後	・「東日本大震災被災者のための祈りⅡ」を全員で継続して祈り続けている。	・熊本地震や糸魚川大火の被災地で苦しむ人々のことも想起。
新津教会	物品購入		NPO法人「福島やさい畑」より商品購入	・婦人会の活動

別表3 新潟地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
青山教会	福島県産品販売	10/2(日)	・バザーで果物を中心とした福島県産の農産物を販売。	・委託販売
亀田教会	祈り	各主日	・東日本大震災被災者のための祈り	
	福島県産品販売	10/2(日)	・教会バザーでのNPO法人「福島やさい畑」からの委託販売。	
寺尾教会	寄付		・定例の教会バザーの収益の75%をカリタスジャパンを通じて送金。送金	残り25%は福岡教区へ寄付
		随時	・嗜好品(ワイン)の共同購入を行い、代金に寄付金を含めて販売。上乗せ額をカリタスジャパンを通じて送金。	
	参加による協力		・新潟市内の教会で行った「福島やさい畑」の企画に参加し信徒に紹介、購入方を働き掛けた。	
	祈り	各主日	・ミサの派遣の祝福の前に「東日本大震災被災者のための祈り」を一同で唱えている。	
	啓発	常時	・東日本大震災被災地の地図を掲示	
新潟教会	福島県産品販売・交流・啓発	9/24(土)	・福島支援の苦宴会と復興市開催 ・講演会講師 漆原比呂志氏(CTVC事務局長) 畠中 千秋氏(カリタス原町ベース長) 湯野川政弘氏(ハートウェッジ福島代表)	・新潟地区信徒使徒職協議会主催
	啓発	常時	・新潟教会談話室に「被災地支援ニュースコーナー」を設置。	・前年より継続
	寄付	11/13(日) 9時半ミサ後 12/4(日) 英語ミサ後	・2回のミニバザー収益金を南相馬市の仮設住宅集会所「真こころ」へ寄付	
		各主日 (9:30ミサ後)	・「コーヒーコーナー」を開催してコーヒーとスイーツ販売、収益はカリタスジャパン(東日本大震災)と福岡教区へ	・信徒有志の活動
	活動支援	年間	・綿の花を苗から育てて摘み、復興支援活動をしている「亀田縮応援隊」(教会外)に届ける活動を継続	
	現地ボランティア	11/4~6	・青年会のメンバー4名がカリタス米川ベースでボランティアに参加した。	
花園・鳥屋野教会	祈り	主日	・主日ミサ後に「東日本大震災被災者のための祈りⅡ」を参列者一同で祈っている。	
		炊事	・被災者のための祈り	有志
	水産物購入		・被災地経由で秋刀魚を購入	個人
	活動支援		・福島県在住の児童の保養を支援	個人
新潟からし種の会	献金	年間	・NPO法人「福島やさい畑～復興プロジェクト」の活動支援(一口500円)	会員数36名 (内訳) 新潟 24 寺尾 8 青山 3 教会外 1 (2016年12月現在)

別表4 長岡地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
柏崎教会	活動支援		・ひまわりの花を育てて種を採り、ひまわり湯を作る活動を継続	・信徒20世帯が協力
	祈り	随時	・継続した祈り	・グループで実践
	被災地訪問	春と秋	・看護師が年2階被災地を訪問し、被災地の状況を信徒つづけている。	
		随時	・信徒が個人的に被災地を訪問、復興支援に関わった「その後」の状況を見て回って確認。	
高田教会	献金	4/	・復活祭ミニバザーでコーヒー券の売り上げを献金	
		5月 8月 11月	・墓地ミサでの祈りと献金	
		10月	・献茶会でのお茶券の売上と献金	
		随時	・個人からの献金は随時受付	
長岡教会	物品支援	年2回	・「大熊町自閉症児親の会スマイル」に毎年復活祭・クリスマスの頃にお菓子や果物を送っている。	
	物品購入		・東松島市で制作した「アクリルたわし」の購入	
	祈り		・「東日本大震災被災者のための祈り」を祈っている。	